

takata04-smartfix

取扱説明書

ご使用前に
必ずよくお読みください。
いつでも読めるように、
大切に保管してください。

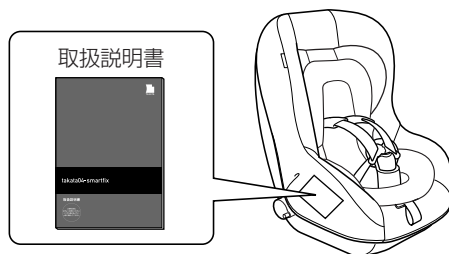
ご使用の前に必ずお読みいただき、
取扱説明書に従い、正しくご使用ください。
また、いつでも読めるように、
大切に保管してください。



このチャイルドシートは、自動車事故などの際に
衝撃を緩和することを目的につくられた
年少者用補助乗用装置です。
チャイルドシートの確実な取り付けとともに
安全運転をお願い申し上げます。

当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売して
おりますが、万が一コール等がありました場合に、速やかにお客様
にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をしてい
ただきたいと存じます。
つきましては、弊社ホームページよりご登録いただくか、付属のお
客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、
弊社お客様登録カード係までお送りいただきたくお願いいたします。

取扱説明書は、シートクッション右側面のポケットに入れて保管して
ください。



目次

ご使用にあたって	3
次のものがそろっていますか	3
各部の名前	5
必ずお読みください	6
マーク表示について	6
緊急時には	6
お子さまの条件	7
ご使用上の注意	8
取り付けできるシート	8
取り付けできないシート	8
取り付けできるシートベルト	9
取り付けできないシートベルト	10
取り付け前の準備	15
保護シールの取り外し	15
肩ハーネス高さの確認	17
肩ハーネス高さ	18
肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換	19
お車への取り付け	27
乳児用：体重13kg未満	27
幼児用：体重9～18kg	37
リクライニングの使いかた	46
お子さまの座らせかた	47
お手入れのしかた	49
シートカバー類の取り外し	49
シートカバー類の取り付け	51
各部のお手入れ	53
照明の電池交換	54

ご使用にあたって

次のものがそろっていますか

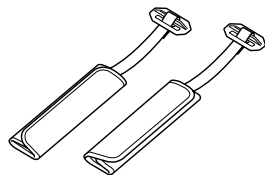
ご使用になる前に、下記の製品がそろっているかご確認ください。

欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店またはお客様相談室(0120-70-5441)までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、品番ラベルに記載されている品番を必ずお伝えください。(P.57参照)

■チャイルドシート本体

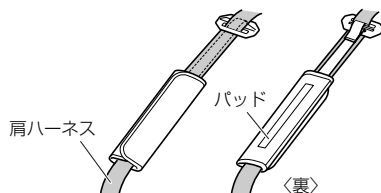


■前向き用肩ハーネスカバー



▲ アドバイス

前向き用ハーネスカバーには、裏面(お子さまの体に接触する面)にパッドが付いています。



■取扱説明書

シートクッション側面に取扱説明書の収納スペースがあります。

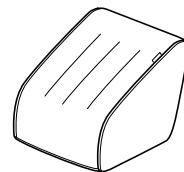


■サンシェード

車内での日差しやホコリからチャイルドシートを保護します。

▲ 注意

お子さまをチャイルドシートに乗せたまま、サンシェードをかぶせないでください。

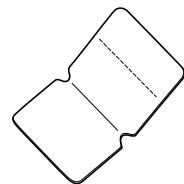


■シート保護マット

チャイルドシートをお車に取り付ける際に、お車のシートを保護します。

▲ 注意

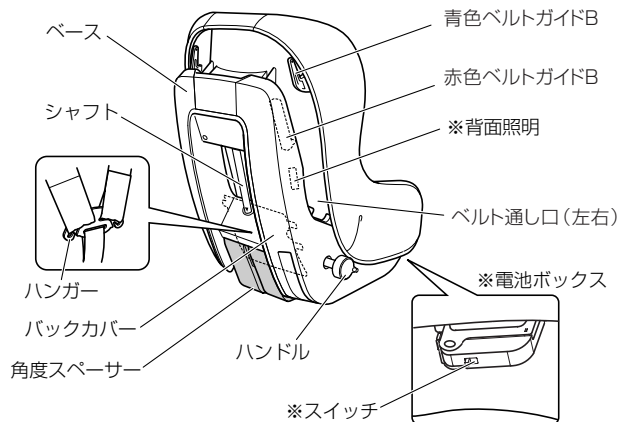
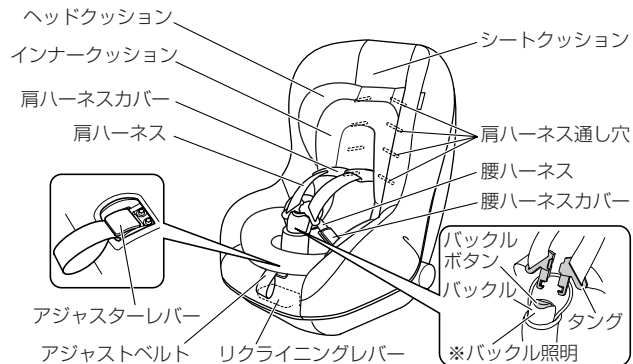
サンシェード、シート保護マットはタカタ製チャイルドシートに合わせて作られています。他の商品にはご使用できない場合があります。



ご使用にあたって

各部の名前

チャイルドシートと合わせてご確認ください。
※印のついているものは、一部の商品にのみ装備されています。



必ずお読みください

マーク表示について

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。
これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負うおそれが想定される内容を示しています。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負うおそれがある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

💡 アドバイス

チャイルドシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



図示されている行為の禁止を示しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

- ①バックルボタンを押してバックルからタンクを外す。
- ②お子さまを静かにチャイルドシートから降ろす。



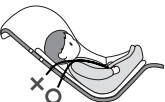
💡 アドバイス

バックルボタンを押してもタンクが外れない場合は、ハーネスを切断するなどしてお子さまを救出してください。

必ずお読みください

お子さまの条件

ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

体 重 (参考年齢)	13kg未満 (新生児～1歳半ごろ)	9～18kg (9ヶ月～4歳ごろ)
取り付け方	お車の進行方向に対し 後ろ向きで使用  (P.27参照)	お車の進行方向に対し 前向きで使用  (P.37参照)
ハーネス カバー インナー クッション (P.21参照)	後ろ向き用 7kg未満まで 	前向き用 インナー クッションは 使用しません 
肩ハーネス の高さ (P.18参照)	肩と同じか低い位置 	肩と同じか高い位置 

⚠ 警告

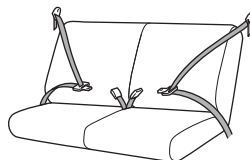
体重が9kgを超えるまでは後ろ向きで使用してください。

年齢の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

ご使用上の注意

取り付けできるシート

- 進行方向に対し前向きで、3点式シートベルトが付いているシート

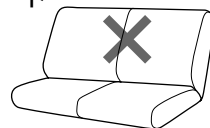


⚠ アドバイス

お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱説明書も合わせてご確認ください。

取り付けできないシート

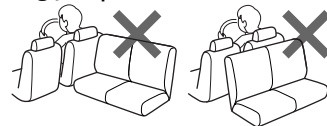
- シートベルトが付いていないシート



- 前方にエアバッグが装備されたシート



- 横向き・後ろ向きになっているシート



- チャイルドシートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート

⚠ 警告

お車のシートが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

取り付けできるシートベルト

このチャイルドシートは、協定規則第44号（ECE R44/04）に適合しています。協定規則第16号（ECE R16）または同等の基準で許可された3点式巻取り装置付シートベルトを装備したお車にて、ご使用することができます。

■ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ、引き出せなくなるタイプ。



■チャイルドシート固定機構付ELRシートベルト

チャイルドシートを固定するための装置が備えられているタイプ。シートベルトとして通常使用するときはELR機能が働く。



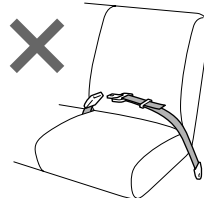
△ アドバイス

お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調整のしかたなど、詳しくはお車の取扱説明書をお読みください。

取り付けできないシートベルト

■2点式シートベルト

肩ベルトがなく腰ベルトの2点で固定するタイプ。



■マニュアル式シートベルト

シートベルトの巻取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。

■パッシブシートベルト

シートに座りドアを閉め、エンジンキーをONにすると肩ベルトが自動で装着するタイプ。腰ベルトは手動。ベルトを外すときは、ドアを開けるかエンジンキーをOFFにする。

■NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ

■その他のシートベルト

「取り付けできるシートベルト」（9ページ）に記載されていないシートベルト。

■腰ベルト側に付いたELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ、引き出せなくなるタイプ。

■ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトを引き出している途中で手を止めると、自動的にロックされ、それ以上ベルトが引き出せない（巻き戻しは可能）タイプ。

△ 警告

お車のシートベルトが上記のタイプに該当する場合は、チャイルドシートを取り付けることができません。取り付けた場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負う可能性があります。

⚠ 警告

お子さまを乗せるときは

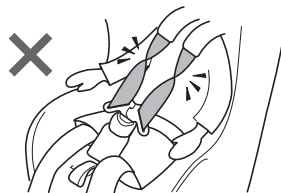
お子さまだけを車に残した状態でお車から離れないでください。不慮の事故（熱射病やいたずらによる事故など）につながるおそれがあります。



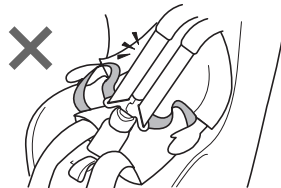
走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗り降りさせないでください。



ハーネスは、ねじれないようにお子さまの身体にあわせて調節してください。ねじれていると事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



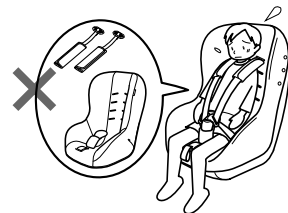
腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等のときに腹部が圧迫され重大な傷害を負う可能性があります。



⚠ 警告

取り付けるときは

チャイルドシートを安全にお使いいただくため、柔軟材料（専用カバー類・ハーネス類・発泡材料等）を取りはずしたり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。



チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。傷ついていると、チャイルドシートが正常な働きをしません。



チャイルドシートを車両に固定するシートベルトに緩みや、ねじれないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



取扱説明書に記載された以上の分解や、構成部品を取りはずした状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



⚠ 警告

こんなことにも注意して

事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれがあるので、再使用しないでください。



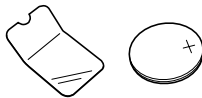
チャイルドシートのロック部分（バックル等）には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。



チャイルドシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。



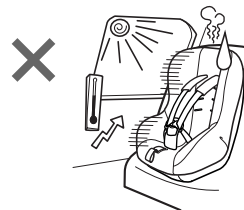
取り外した電池、保護シールはお子さまの手の届かないところに保管してください。お子さまが飲み込むと重大な傷害を受けるおそれがあります。万一、電池を飲み込んだ場合には、すぐに医師に相談してください。



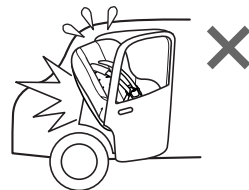
⚠ 注意

こんなことにも注意して

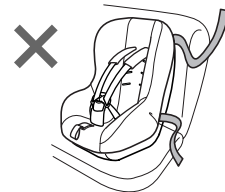
チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、ご使用ください。



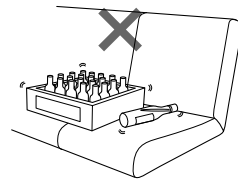
可動式シートまたは車両のドアにチャイルドシートの剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにして本品を取り付けてください。



チャイルドシートにお子さまを乗せないときでも、安全のため必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、傷害を負う可能性があります。



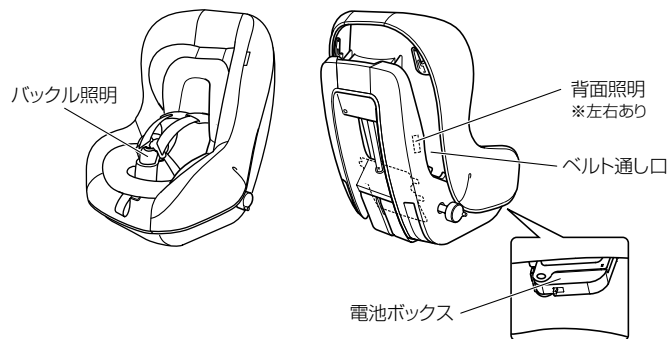
事故発生時や乗員に、傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。



取り付け前の準備

保護シールの取り外し

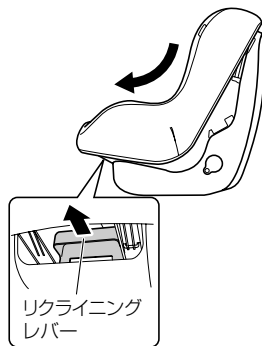
一部の商品には、背面（ベルト通し口）とバックルに照明が装備されています。ご使用前に電池ボックス内の保護シールを取り外してください。保護シールを取り外さない限り、照明は点灯（点滅）しません。



- ①リクライニングレバーを引き、チャイルドシートをリクライニングさせ、3段階（P.46参照）にセットする。

⚠ 注意

可動部分に指や物をはさまないようにしてください。



- ②チャイルドシート右側面にある電池ボックスの角部を引き下げ、カバーを開ける。

- ③2つのボタン電池についている透明の保護シールを引き抜く。

⚠ 警告

取り外した保護シールはお子さまの手の届かないところに保管してください。お子さまが飲み込むと重大な障害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

電池挿入部を鋭利なもので傷つけたり、電極を曲げたり、液体やゴミなどが付着しないよう注意してください。

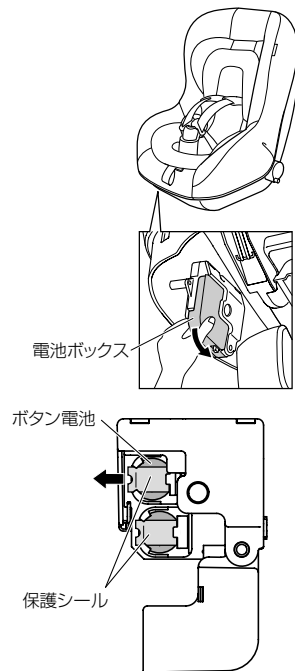
💡 アドバイス

電池の使い方を誤ると事故や故障の原因となります。P.56に記載されている注意事項をご確認ください。

- ④電池ボックスのカバーを閉める。

⚠ 注意

カバーを確実に閉めてください。開いた状態で使用すると、故障の原因となります。

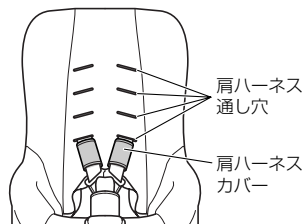


肩ハーネス高さの確認

お子さまの肩の位置に合わせ、肩ハーネス通し穴の位置（P.18参照）を調整し、適切な肩ハーネスカバーを使用する必要があります。

⚠️ アドバイス

- 肩ハーネス通し穴の位置を確認するときは、チャイルドシートを正しい取り付け角度にし、お子さまを座らせた状態で行ってください。
- お子さまの座らせかたにつきましては、「お子さまの座らせかた」（P.47）をご参照ください。



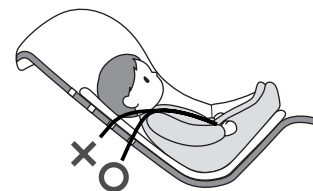
肩ハーネス通し穴の位置が合っていない場合、また正しい肩ハーネスカバーが取り付けしていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換」（P.19）を参照し、正しい状態にしてください。

肩ハーネス高さ

お子さまの体格に合わせてご使用ください。肩ハーネスの位置が合っていない場合は、「肩ハーネスの高さ調整」（P.19）を参照し、以下のように正しい位置に調整してください。

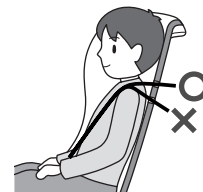
■ 後ろ向き（体重13kg未満）

肩ハーネス通し穴がお子さまの肩と同じか、肩より低い位置で使用してください。



■ 前向き（体重9～18kg）

肩ハーネス通し穴がお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用してください。

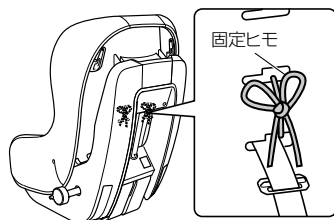


⚠️ 警告

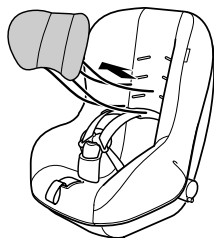
肩ハーネス高さは必ず正しい位置でご使用ください。不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

- ①ヘッドクッションを固定している背面のヒモをほどく。



- ②肩ハーネス通し穴からヒモを引き抜いて、ヘッドクッションを取り外す。



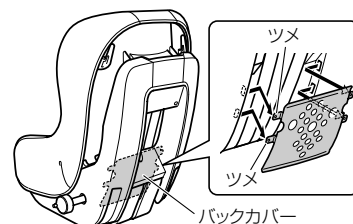
- ③アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。



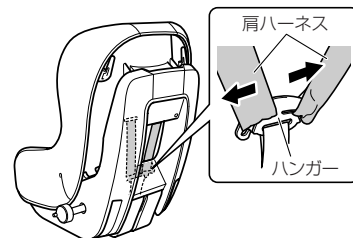
⚠ アドバイス

肩ハーネスのみを持って、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。

- ④バックカバーをたわませてツメをはずし、本体から取りはずす。



- ⑤肩ハーネスをハンガーから取りはずす。



- ⑥肩ハーネス通し穴から肩ハーネスを引き抜く。



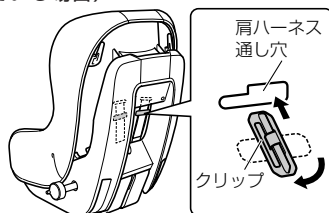
肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

＜前向き用肩ハーネスカバーを使用している場合＞

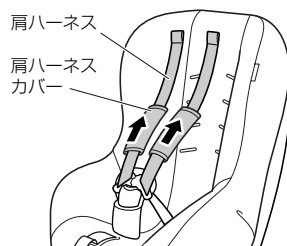
- ⑦ クリップを縦にして、肩ハーネス通し穴へ通す。

⚠️ アドバイス

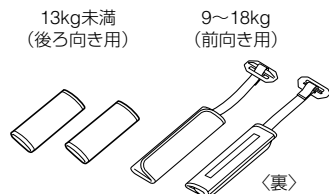
一番上の肩ハーネス通し穴に通す際にはリクライニングを1段目、それ以外は2段目、3段目にセットし、作業してください。(P.46参照)



- ⑧ 肩ハーネスから肩ハーネスカバーを抜き取る。



- ⑨ 肩ハーネスに、ご使用になるお子さまに合った肩ハーネスカバーを取り付ける。

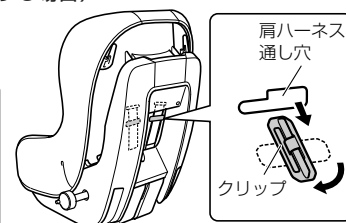


＜前向き用肩ハーネスカバーを使用する場合＞

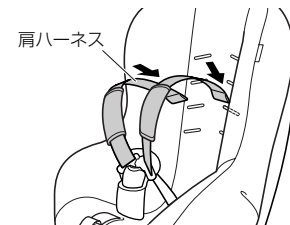
- ⑩ クリップを縦にして肩ハーネス通し穴へ通す。

⚠️ アドバイス

一番上の肩ハーネス通し穴に通す際にはリクライニングを1段目、それ以外は2段目、3段目にセットし、作業してください。(P.46参照)

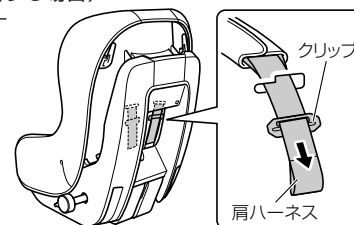


- ⑪ 肩ハーネスを適切な肩ハーネス通し穴へ通す。



＜前向き用肩ハーネスカバーを使用する場合＞

- ⑫ 肩ハーネスを肩ハーネスカバーのクリップへ通す。

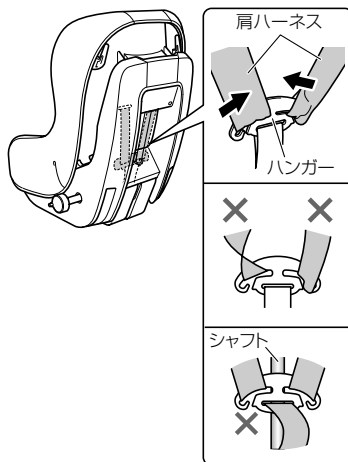


肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換

- ⑬肩ハーネスをハンガーに取り付ける。

⚠ 警告

- 肩ハーネスがねじれていないことを確認してください。
- 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けしていないと、衝突時にハーネスが抜け、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シャフトの手前側で肩ハーネスをハンガーに取り付けないでください。



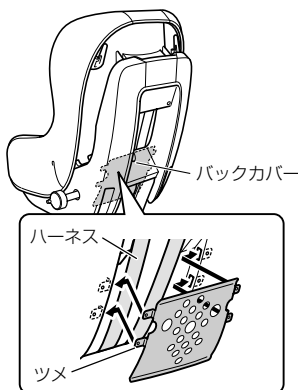
⚠ 注意

直射日光が当たって、シャフトやハンガーが熱くなることがあります。
やけどのおそれがありますので、ご使用時には、十分注意してください。

- ⑭バックカバーを取り付ける。

⚠ 注意

バックカバーのツメが本体に確実にハマっていないと、事故時に十分な機能を発揮しないおそれがあります。



- ⑮ヘッドクッションを取り付ける。
(P.24参照)

ヘッドクッションの取り付け

肩ハーネス位置により高さを調整する必要があります。また、固定ヒモが背面で結ばれ、しっかりと固定されていることを確認してください。

リクライニングを1段目にセットし (P.46参照)、作業を行ってください。

＜最下段の肩ハーネス通し穴を使っている場合＞

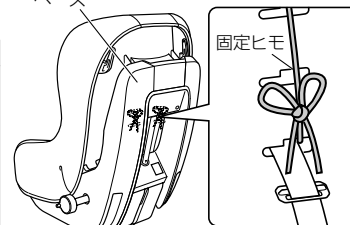
下側のヒモを、肩ハーネスを通して、上側のヒモは、最上段のハーネス穴に通す。



背面で上下のヒモを結び、固定する。

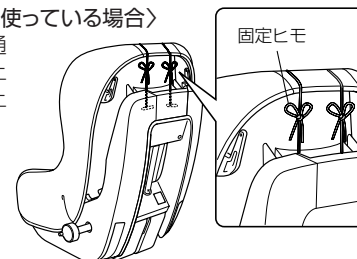
⚠ 注意

- ヘッドクッションは、故意に力をかけないでください。内部のパッドが破損する可能性があります。
- ヒモをベース部に結ばないようにしてください。



＜最下段以外の肩ハーネス通し穴を使っている場合＞

下側のヒモを、肩ハーネスを通して、上側のヒモはチャイルドシート上部を通して、背面で結ぶ。



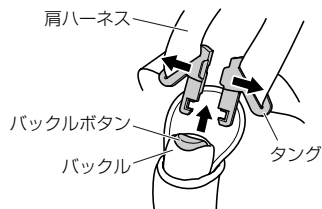
インナークッションの取り付け

インナークッションは、お子さまの体重が7kg未満（参考年齢6ヶ月未満）の場合に使用してください。

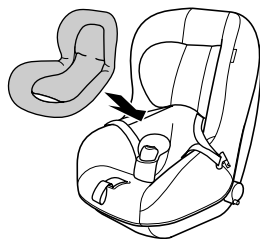
- ① アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。



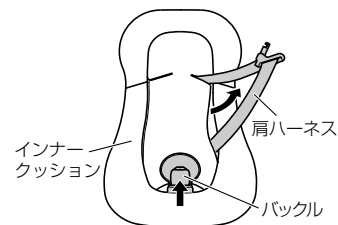
- ② バックルボタンを押してバックルからタングをはずし、肩ハーネスを左右に広げる。



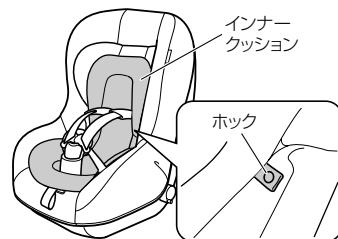
- ③ インナークッションをシートの形状に合わせて置く。



- ④ インナークッションにハーネス、バックルを通す。

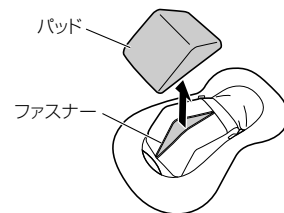


- ⑤ インナークッションの裏側にあるホックをはめる。



🔥 アドバイス

お子さまの体格によりインナークッションが窮屈な場合は、座面パッドを取り外してご使用ください。



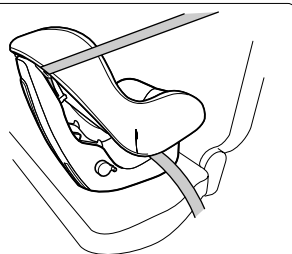
お車への取り付け

お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

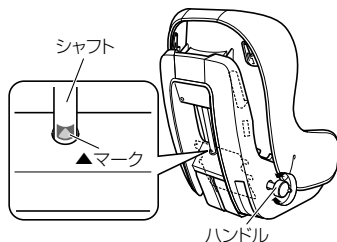
＜取り付けイメージ＞

進行方向に対し、後ろ向きに取り付けます。

※ 説明の都合上、ヘッドクッション、インナークッションは外しています。



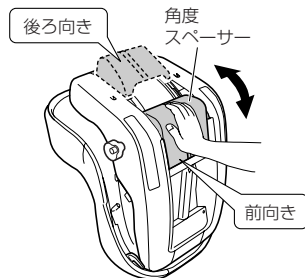
- ① シャフトにある▲マークが背面から見えるように、ハンドルを回してシャフトの向きを合わせる。



- ② チャイルドシート底面の角度スペーサーを後ろ向き取り付け位置（前方）にスライドする。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



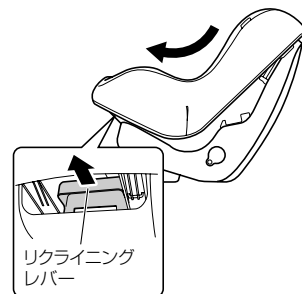
- ③ リクライニングレバーを引き、チャイルドシートをリクライニングさせ、3段目（背もたれが最も倒れた位置）（P.46参照）にセットする。

⚠ 警告

リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



- ④ チャイルドシートの最前部がシートの背もたれにぴったりと付くように、チャイルドシートを置く。

💡 アドバイス

お車のシートが損傷しないようにチャイルドシートの下に付属のシート保護マットやタオル、またはシーツなどを敷くことをお勧めします。

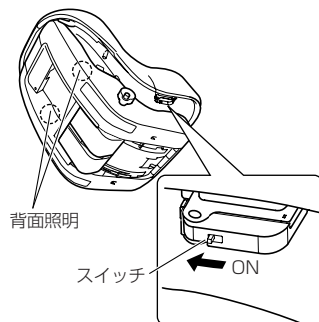


お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

- ⑤一部の商品には、背面（ベルト通し口）に照明が装備されています。
側面のスイッチを入れると背面の黄色照明が点灯します。

⚠ 注意

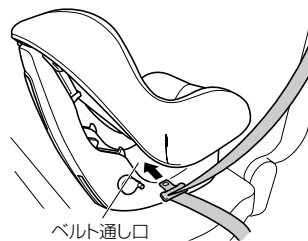
照明は自動では消えません。
取り付け作業が終わりましたら、スイッチを切り必ず照明を消してください。



- ⑥シートベルトをベルト通し口に通す。

⚠ 警告

ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。
他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

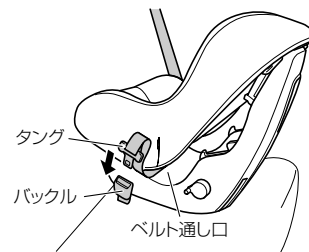


お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

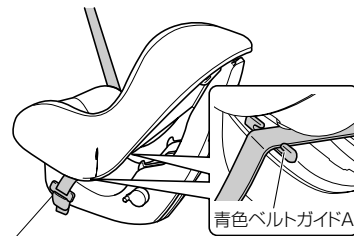
- ⑦反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タングをバックルに差し込む。

⚠ 警告

バックルが確実にロックされていることを確認してください。
ロックされていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。



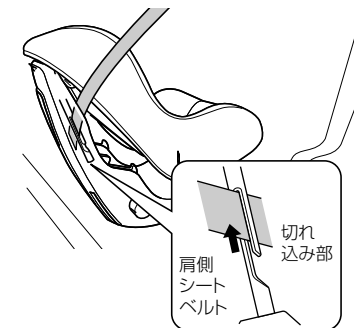
- ⑧腰側（下側）のシートベルトが青色ベルトガイドAの上を通っていることを確認してください。
（チャイルドシートの左右両側とも確認）



- ⑨シャフト切れ込みに肩側シートベルトを通す。

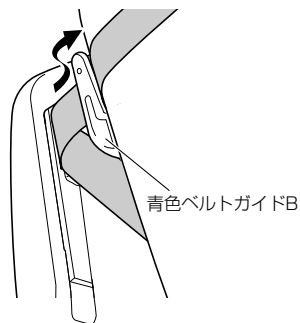
⚠ 注意

直射日光が当たってシャフトが熱くなることがあります。
やけどのおそれがありますので、ご使用時には、十分注意してください。

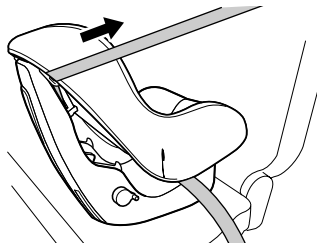


お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

- ⑩ 青色ベルトガイドBにシートベルトを通す。



- ⑪ チャイルドシートをシートに押し付けながら、肩側（上側）のシートベルトを引っ張り、シートベルトのたるみを取る。



＜チャイルドシート固定機能が付いたお車の場合＞

- ⑫ シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能に切り替える。

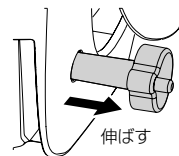
⚠ アドバイス

チャイルドシート固定機能の詳細な取り扱いについては、お車の取扱説明書をご参照ください。

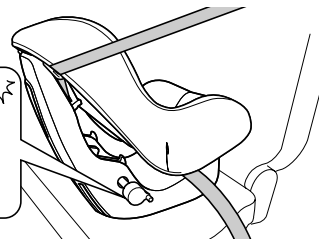
- ⑬ ハンドルを引っ張り、伸ばします。

⚠ アドバイス

ハンドルがお車のシートやバックルに当たる場合は、縮めたままご使用ください。

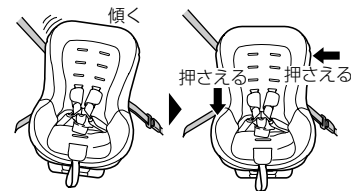


- ⑭ ハンドルを“しめる”方向に回す。空回りし、「カチ」と1回音がするまで回す。



⚠ アドバイス

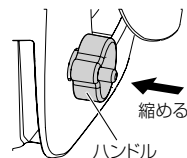
- チャイルドシート固定作業中に傾きが発生した場合は、傾きを修正してチャイルドシートがまっすぐになるように取り付けてください。
- チャイルドシートを長時間取り付けることにより、シャフトに巻きつけたシートベルトに痕がのこることがあります。



- ⑮ ハンドルを押し込み縮めます。

⚠ アドバイス

ハンドルがお車のシートやバックルに当たる場合は、伸ばしたままご使用ください。



お車への取り付け（乳児用：体重13kg未満）

⑩取り付けチェック

チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを確認する。
（目安：動きが前後左右3cm以内）
しっかり取り付けられていない場合はP.28手順④からやり直す。

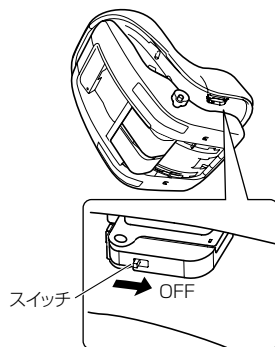
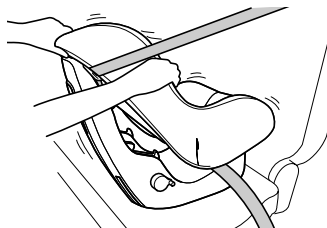
⚠ 警告

チャイルドシートをシートに固定するシートベルトは緩みがないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

💡 アドバイス

取り付けに関し不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。

⑪背面（ベルト通し口）に照明が装備されているチャイルドシートをご使用の場合は、スイッチを切り、必ず照明を消してください。

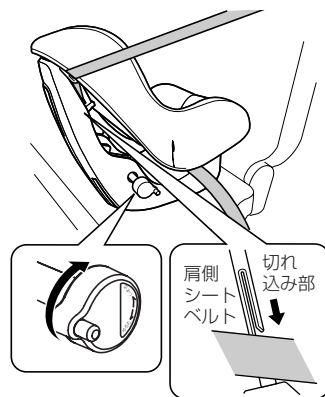


取り外し（乳児用：体重13kg未満）

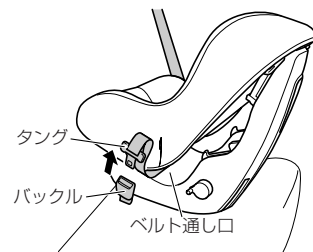
⚠ 警告

シートベルトを取り外す場合は、始めにハンドルをゆるめ、シャフトからシートベルトを外してください。手順が正しくないと、シートベルトが取り外せなくなる可能性があります。（ALR使用時）

①ハンドルを“ゆるむ”方向に回し、シャフトからシートベルトを外す。

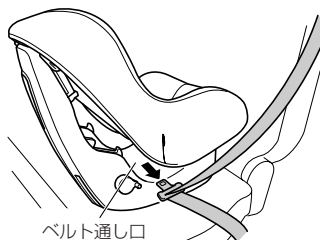


②シートベルトのタングをバックルから外す。



取り外し（乳児用：体重13kg未満）

③ベルト通し口からシートベルトを引き出す。

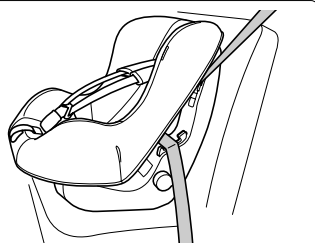
[illegible]

お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

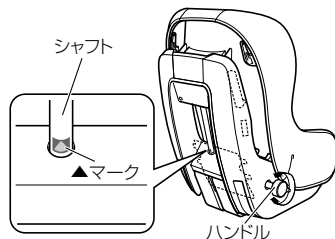
＜取り付けイメージ＞

進行方向に対し、前向きに取り付けます。

※ 説明の都合上、ヘッドクッションは外しています。



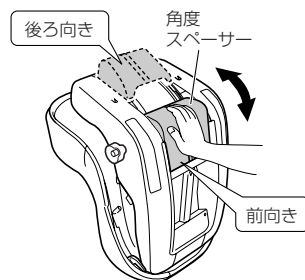
- ①シャフトにある▲マークが背面から見えるように、ハンドルを回してシャフトの向きを合わせる。



- ②チャイルドシート底面の角度スペーサーを前向き取り付け位置に（後方）スライドする。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



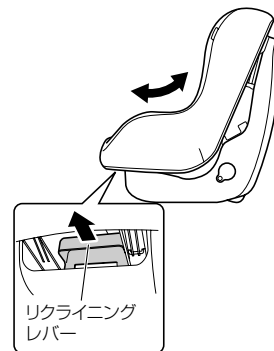
- ③リクライニングレバーを引き、チャイルドシートをリクライニングさせ、2段目（P.46参照）にセットする。

⚠ 警告

リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

⚠ 注意

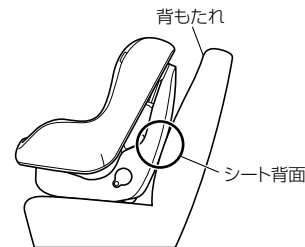
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



- ④チャイルドシートの背面がシートの背もたれに当たるようにチャイルドシートを置く。

⚠ アドバイス

お車のシートが損傷ないようにチャイルドシートの下に付属のシート保護マットやタオル、またはシーツなどを敷くことをお勧めします。

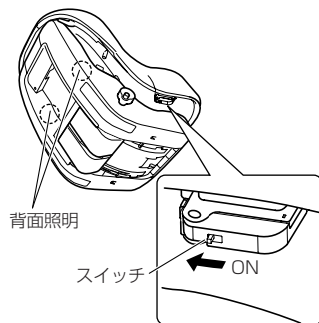


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

- ⑤一部の商品には、背面（ベルト通し口）に照明が装備されています。
側面のスイッチを入れると背面の黄色照明が点灯します。

⚠ 注意

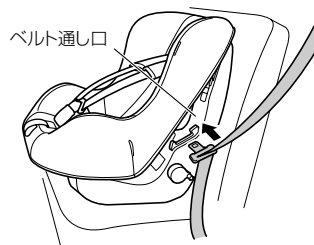
照明は自動では消えません。
取り付け作業が終わりましたら、スイッチを切り必ず照明を消してください。



- ⑥シートベルトをベルト通し口に通す。

⚠ 警告

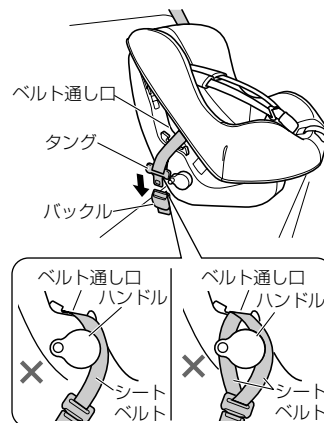
ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。
他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。



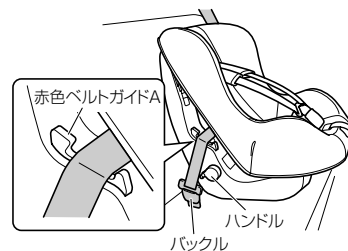
- ⑦反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出し、タンクをバックルに差し込む。シートベルトは必ずハンドルの後ろ側を通してください。

⚠ 警告

- バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。
- シートベルトはハンドルの後ろ側を通してください。前側を通したり、両側に通すと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトをハンドルの両側に通すと、シートベルトが取り外せなくなる可能性があります。



- ⑧腰側（下側）のシートベルトが赤色ベルトガイドAの上を通っていることを確認してください。（チャイルドシートの左右両側とも確認）

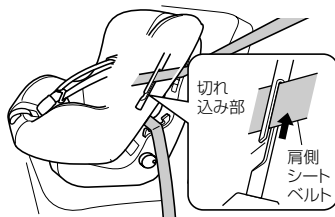


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

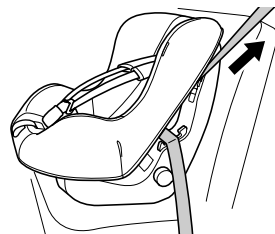
- ⑨シャフトの切れ込みに肩側シートベルトを通す。

⚠ 注意

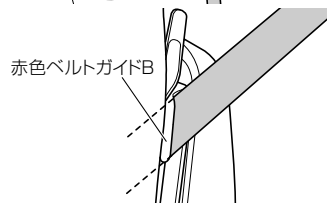
直射日光が当たってシャフトが熱くなることがあります。やけどのおそれがありますので、ご使用時には、十分注意してください。



- ⑩肩側（上側）のシートベルトをシャフトから外れないように、引っ張る。



- ⑪赤色ベルトガイドBにシートベルトを通す。



〈チャイルドシート固定機能が付いたお車の場合〉

- ⑫シートベルトを全量引き出し、チャイルドシート固定機能に切り替える。

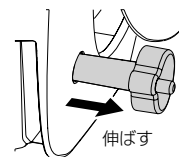
⚠ アドバイス

チャイルドシート固定機能の詳しい取り扱いについては、お車の取扱説明書をご参照ください。

- ⑬ハンドルを引っ張り、伸ばします。

⚠ アドバイス

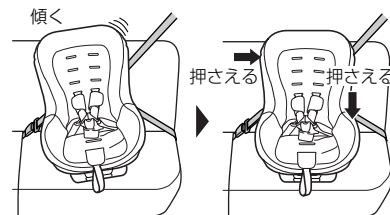
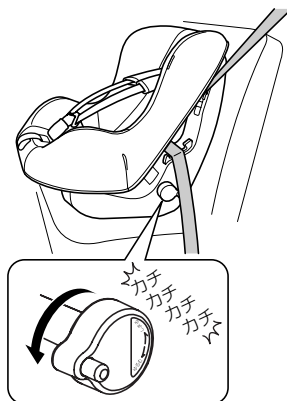
ハンドルがお車のシートやバックルに当たる場合は、縮めたままご使用ください。



- ⑭ハンドルを“しめる”方向に回す。空回りし、「カチ・カチ・カチ・カチ」と4回音がするまで回す。

⚠ アドバイス

- チャイルドシート固定作業中に傾きが発生した場合は、傾きを修正してチャイルドシートがまっすぐになるように取り付けてください。
- チャイルドシートを長時間取り付けることにより、シャフトに巻きつけたシートベルトに痕がのこることがあります。

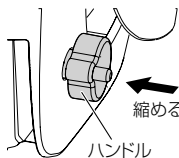


お車への取り付け（幼児用：体重9～18kg）

- ⑮ハンドルを押し込み、縮めます。

アドバイス

ハンドルがお車のシートやバックルに当たる場合は、伸ばしたままご使用ください。



- ⑯取り付けチェック

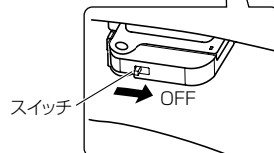
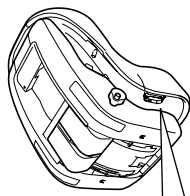
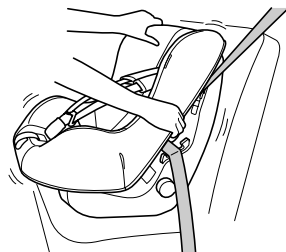
チャイルドシートがしっかり取り付けられていることを確認する。
（目安：動きが前後左右3cm以内）
しっかり取り付けられていない場合はP.38手順④からやり直す。

警告

チャイルドシートをシートに固定するシートベルトは緩みのないようにしてください。チャイルドシートにガタツキが生じ、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

アドバイス

取り付けに関し不明な点がございましたら、お買い上げの販売店またはお客様相談室にお問い合わせください。



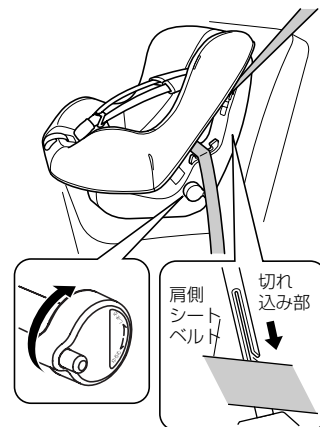
- ⑰背面（ベルト通し口）に照明が装備されているチャイルドシートをご使用の場合は、スイッチを切り、必ず照明を消してください。

取り外し（幼児用：体重9～18kg）

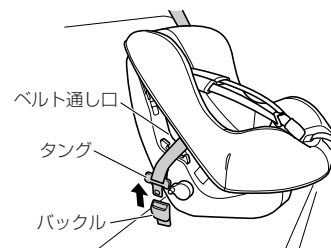
警告

シートベルトを取り外す場合は、始めにハンドルをゆるめ、シャフトからシートベルトを外してください。手順が正しくないと、シートベルトが取り外せなくなる可能性があります。（ALR使用時）

- ①ハンドルを“ゆるむ”方向に回し、シャフトからシートベルトを外す。

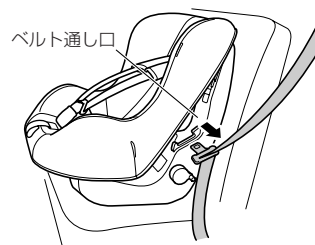


- ②シートベルトのタングをバックルから外す。



取り外し（幼児用：体重9～18kg）

- ③ベルト通し口からシートベルトを引き出す。



リクライニングの使いかた

リクライニングレバーを引き、お子さまの体重に合わせリクライニング位置をセットする。

⚠ 警告

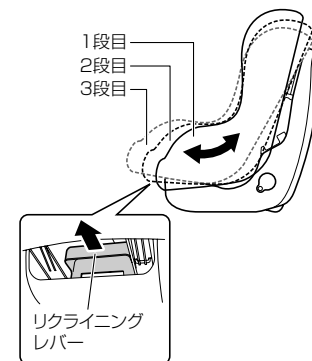
- お子さまの体重に合わせた位置で使用しないと、事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リクライニングがロックされたことを確認してください。リクライニングがロックされていないと、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

⚠ 注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

🔧 アドバイス

リクライニングレバーが戻らない場合はリクライニング位置に正しくセットされていない状態です。チャイルドシートを軽く前後に動かし、リクライニングレバーがロックされていることを確認します。



リクライニング使用位置

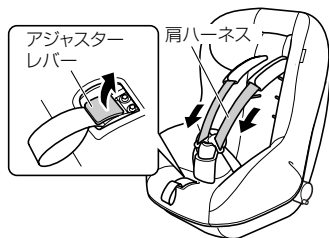
リクライニングの位置	お子さまの体重	
	13kg未満	9～18kg
チャイルドシートの向き	後ろ向き	前向き
1段目	×	○
2段目	×	○
3段目	○	×

お子さまの座らせかた

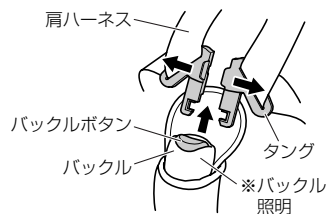
- ①アジャスターレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

⚠️ アドバイス

肩ハーネスのみを引っ張り、引き出してください。
肩ハーネスカバーを引っ張っても、引き出せない場合があります。



- ②バックルボタンを押してバックルからタングをはずし、肩ハーネスを左右に広げる。



- ③お子さまをシートクッションの上に深く座らせる。

⚠️ アドバイス

一部の商品では、暗室でも取り付け易くするため、バックルに照明が装備されています。お子さまを座らせると、バックル内の照明が点滅し、バックルにタングを差し込むと自動的に消えます。但し、新生児のお子さまは、乗せる位置によって点滅しない場合があります。

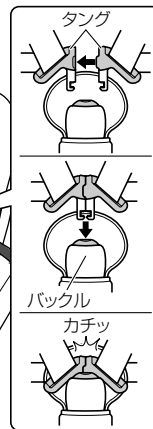


- ④肩ハーネスをお子さまの肩にかける。左右のタングを合わせ、合わせたタングをバックルにまっすぐ挿入し、「カチッ」と音がするまで差し込む。

- ⑤タングを引っ張り、タングとバックルが正しく結合されていることを確認する。

⚠️ 警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負うおそれがあります。



- ⑥アジャストベルトを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。

⚠️ 警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負うおそれがあります。



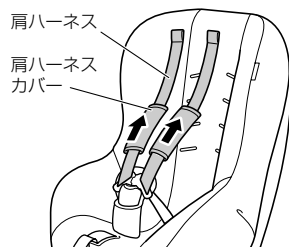
お子さまの降ろし方につきましては、P.6を参照してください。

シートカバー類の取りはずし

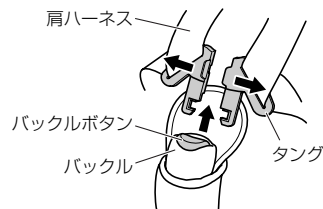
- ①「肩ハーネスの高さ調整、肩ハーネスカバーの交換」(P.19参照)の手順①から⑦にて肩ハーネスを肩ハーネス通し穴から引き抜く。



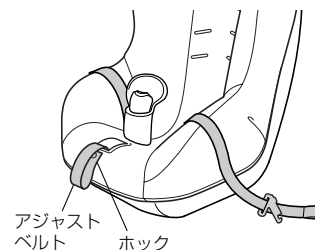
- ②肩ハーネスから肩ハーネスカバーを抜き取る。



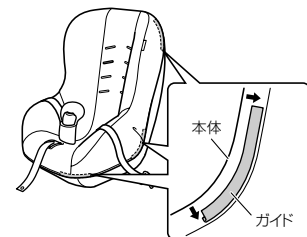
- ③バックルボタンを押してバックルからタングをはずす。



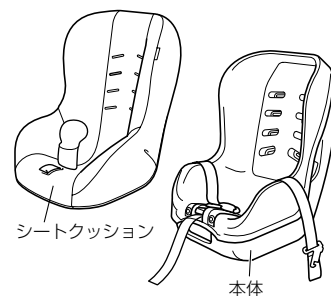
- ④アジャストベルト末端のホックをはずす。



- ⑤シートクッションの上下左右に付いているガイドを外す。



- ⑥本体からシートクッションを取りはずす。



シートカバー類の取り付け

「取りはずし」と逆の手順で、各カバー類を取り付ける。

⚠ 警告

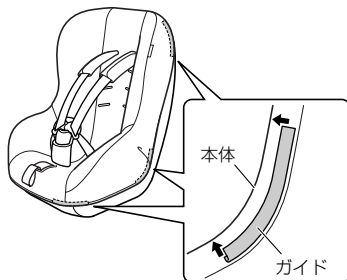
- 専用クッション以外は使用しないでください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。

⚠ 注意

- クッションがズれていたり、本体から浮いていないことを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。
- ガイドが本体に確実にハマっていることを確認してください。事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。

🔥 アドバイス

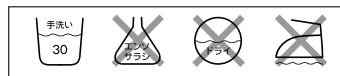
シートクッションは本体の形状に合わせてかぶせ、ガイドで固定します。



各部のお手入れ

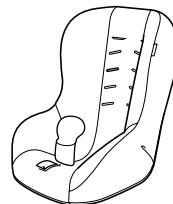
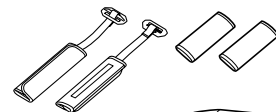
＜カバー類＞

カバー類が汚れた場合は、チャイルドシートから取りはずし、中性洗剤を使用して手で押し洗いをしてください。



⚠ 注意

洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

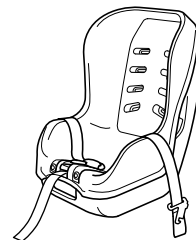


＜本体＞

チャイルドシート本体、ウレタンなどのプラスチック部が汚れた場合は、柔らかい布で乾拭きまたは水拭きをしてください。

⚠ 注意

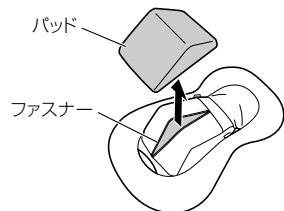
- 洗剤類を使用しないでください。変色等のおそれがあります。
- 水拭き後は、完全に乾燥させてからご使用ください。
- 一部の商品には、本体に配線がついています。配線を故意に触ったり、引っ張ったりしないでください。故障の原因となります。



各部のお手入れ

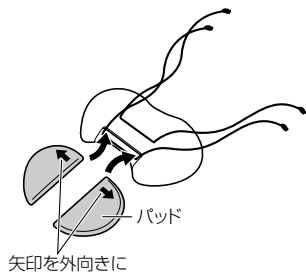
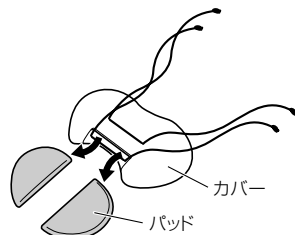
〈インナークッション〉

カバーが汚れた場合は、内部のパッドを取り外し、中性洗剤を使用し手で押し洗いをしてください。



〈ヘッドクッション〉

カバーが汚れた場合は、内部のパッドを取り外し、中性洗剤を使用し手で押し洗いをしてください。



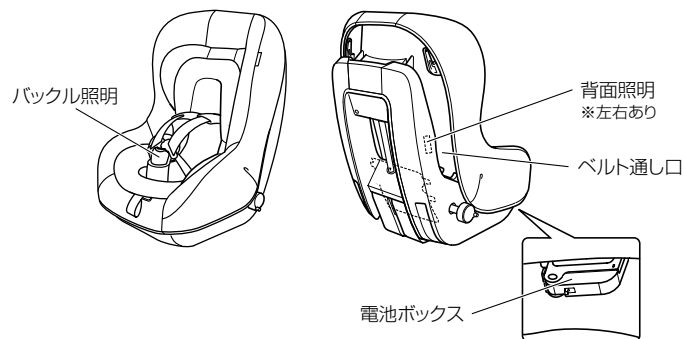
⚠ 注意

パッドは洗濯しないでください。

カバーにパッドを入れる場合には、カバー、パッドを裏面から見て、パッドの矢印が上部にあり、外側を向くように入れてください。

照明の電池交換

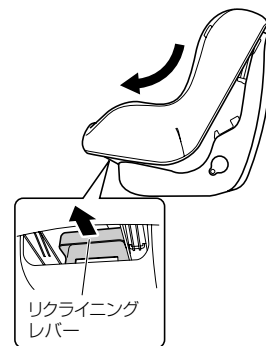
一部の商品には背面（ベルト通し穴）、およびバックルに照明が付いています。電池が消耗し、点灯、点滅しない場合には新しいものに交換してください。



- ① リクライニングレバーを引き、チャイルドシートをリクライニングさせ、3段目（P.46参照）にセットする。

⚠ 注意

可動部分に指や物をはさまないようにしてください。



照明の電池交換

②チャイルドシート右側面にある電池ボックスの角部を引き下げ、カバーを開ける。

③ボタン電池を取り外します。電池を奥に押しつけながら、持ち上げると外れます。なお背面用、バックル用の各電池は、右図のように配置されています。

⚠ 注意

電池ボックスは本体から取り外すことはできません。無理に外そうとすると故障の原因となります。

④新しい電池は、+極を上にして取り付けてください。

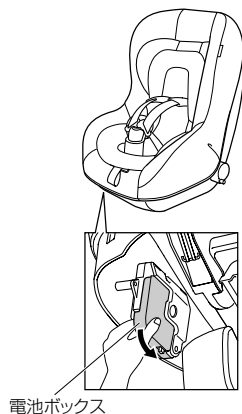
💡 アドバイス

ボタン電池は、時計店、カメラ店等で購入できます。

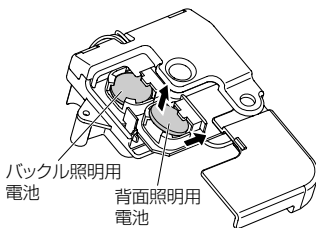
⑤電池ボックスのカバーを閉める。

⚠ 注意

カバーを確実に閉めてください。開いた状態で使用すると、故障の原因となります。



電池ボックス

バックル照明用
電池背面照明用
電池

使用電池
リチウム電池 CR2032

推奨メーカー
パナソニック

＜安全に関するご注意＞

電池の使い方を誤ると、漏液、発熱、破裂したり、けがや機器類の故障の原因となります。

次のことを必ずお守りください。

⚠ 注意

- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。お子さまが飲み込むと重大な障害を受けるおそれがあります。飲み込んだ場合には、すぐに医師に相談してください。
- 電池の+極、-極は必ず正しい向きに取り付けてください。
- 電池挿入部を鋭利なもので傷つけたり、電極を曲げないでください。故障の原因となります。
- 水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 使い終わった電池は、すぐに機器から取り出してください。また、長期間使用しない場合は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れる可能性があります。
- 電池の液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。
- 電池をショート、変形させないでください。
- 電池を分解、加熱、充電しないでください。
- 電池を火に近づけないようにしてください。
- 他の電池やネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。また廃棄時には、テープなどで端子部を絶縁してください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従ってください。

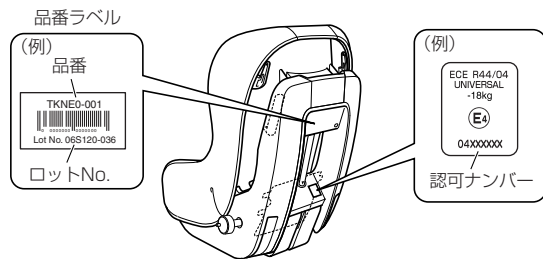
お手入れのしかた

補修部品について

お買い上げの販売店、もしくはお客様相談室（0120-70-5441）までご連絡ください。

お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面に貼っているラベルの品番を必ずお伝えください。

もし、品番が不明な場合は、背面に貼ってある認可ラベルに記載されている認可ナンバーをお伝えください。



〈別売〉

■スぺーサーマット (品番TKACC-003)

お車への取り付け時に、シート形状等で取り付けしづらい場合に使用します。

